

学校経営推進費 評価報告書（1年め）

1. 事業計画の概要

学校名	大阪府教育センター附属高等学校
取り組む課題	授業改善への支援（生徒の学力の充実）
評価指標	・外部機関の客観的学力診断テストにおける学力の向上 ・授業アンケートと学校教育自己診断における生徒の授業満足度の向上 ・大学教員や図書館司書などからのコンサルテーションの成果
計画名	「探究図書館を創ろう！！ ～生徒がカリキュラムのオーナーとなり、 学びをデザインすることを支える学校図書をめざして～」

2. 事業目標及び本年度の取組み

学校経営計画の 中期的目標	<p>(3) あくなき探究心の育成</p> <p>ア 教科横断型である探究ナビを本校教育活動の軸と位置付け、活用型の授業に取り組む。そして、探究ナビ発表大会を実施し、探究活動の充実とその成果を発信する。</p> <p>イ 全教科において、「社会人基礎力」の育成を意識した授業実践を行う。 ※学校教育自己診断（生徒）で「授業で自分の考えをまとめたり、発表する機会がある」（R1：53.9%、R2：63.5%、R3：81.6%）を前年度比で増加させ、令和6年度には82%以上にする。</p> <p>ウ 進路指導を充実させる中で、自ら学ぶ生徒を育成する。 ※学校教育自己診断（生徒）で「将来の進路や生き方について考える機会がある」（R1：79.7%、R2：80.8%、R3：89.0%）を令和6年度も80%以上を維持する。 ※3年間を見通した進路指導を着実に実行することにより、4年制大学・短期大学の進学者率上げ、令和6年度には併せて150名以上とする。 （R1：135名、R2：132名、R3：150名） ※令和4年度、「探究図書館を創ろう！」が学校経営推進費支援校に決定。評価指標として、図書館の来館者数を400名以上[R3 305名]、利用書籍の統計変化を探るとともに、学校教育自己診断（生徒）で、「図書館を利用して探究活動を進めることができた」（新設）肯定率80%以上。大阪府教育センターフォーラム等での成果発表を行う。</p>
事業目標	本校が創立以来先進的に取り組んで来た探究活動をさらに発展させ、生徒自らが個別最適な学びや協働的な学びをデザインする学習活動を展開する。主体的な探究活動を支援するような文献や論文に溢れ、また共創的な学習活動を展開できるディベートルームがあり、各授業での活用が可能な知識創造の場となる学校図書を作ることで、生徒の学びを深め、主体的に学びに向かっていると自己を肯定できる生徒の割合を増加させる。
整備した 設備・物品	ワークテーブル12台（いちょう型）、移動式チェア12台、移動式ホワイトボード1台、ベンチ付扇形書架2台、扇形書架4台、直線書架1台、ソファ3個、カーペット18㎡（紺）、カーペット35㎡（緑）、書籍411冊
取組みの 主担・実施者	総務企画部・探究科教員（探究主担3名＋担任18名＋学年主任3名＋大阪府教育センター指導主事）・授業研究委員会
本年度の	・「探究図書館への変容」

<p>取組内容</p>	<p>学校図書館が「調べる場所」から自ら「主体的な学びをデザイン」する探究図書館へ、空間のイノベーションを図った。（本を読む場所、自主勉強する場所であることは維持しながら、仲間と協働して「学ぶ、考える」、ターニングコモンズ空間への転換）</p> <ul style="list-style-type: none"> ・「学ぶ環境を整備し、学ぶ意欲を高める工夫」 <p>学びやすい環境を整えることは、学習意欲を高めるためには重要な要素である。相談しやすい、意見交換がしやすくするための、デスクデザインやチェアの配置、壁面をホワイトボード化するなど、生徒自ら、適宜、自由自在にアレンジできるようにするなど、画一的な空間からの脱却を図った。</p> ・「外部講師との連携」 <p>外部講師と連携し、（大阪教育大学の森田英嗣教授、埼玉県立飯能高等学校の学校司書、湯川康宏先生）専門的な知見から学校図書館の在り方について、助言をいただいた。（研修参加者 40 名：外部 13 名、本校教員 27 名）</p>
<p>成果の検証方法と評価指標</p>	<ul style="list-style-type: none"> ①図書館の来館者数を延べ 400 名以上に増加させる。 ②利用書籍の統計変化を探るとともに学校教育自己診断（生徒）で、「図書館を利用して自らの興味や関心を高めたり、探究活動を進めたりすることができた」（新設）肯定率 80% 以上にする。 ③大阪府教育センターフォーラム等での成果発表を行う。
<p>自己評価</p>	<ul style="list-style-type: none"> ①図書館の来館者数を 408 名 [R3 :305 名] で、利用書籍の統計変化を探るとともに、7 月よりエレベーター工事のため閉館していたが、昼休みの放送、月ごとの図書館だよりの発行等で来館者、利用者が増加した。…………… (○) ②学校教育自己診断（生徒）で、「図書館を利用して探究活動を進めることができた」（新設）→質問項目に組み入れなかったため評価できず。…………… (△) ③大阪府教育センターフォーラム等での成果発表を行う。 <ul style="list-style-type: none"> →大学の学識経験者に本校の成果発表をすると共に、学校図書館への助言をいただいた。（参加者 20 名） →埼玉県の先進的な高校の学校司書とオンライン交流で取組み報告を行い、見識を深めた。（参加者 14 名）…………… (○)
<p>次年度に向けて</p>	<p>本校は、「探究ナビ」を教科指導の柱にしており、教授法等は一定確立した。本校に「探究図書館」が設置された場合、大阪のナビゲーションスクールとして、その成果を全国に発信することで、全国に有益な「図書館の在り方」伝達できるものと考えている。</p> <p>1 人 1 台端末との併用により、より効果的で深みのある探究活動ができる。ネットまたは本、どちらかに限定するのではなく、学びのシーン、テーマに応じて併用する。</p>

3. 事業費報告

今年度事業費総額	2,190,693	円
----------	-----------	---

積算内訳

* 決算科目（節）を明示し、節毎に積算内訳を記載すること。

科目（節）	番号	内訳	単価	数量	金額
1 報償費	1	コンサルテーション費	¥50,000	1	¥50,000
	2				
	3				
				小計	¥50,000
2 旅費	1				
	2				
	3				
				小計	0
3 消耗需用費	1	CM-46 ワークテーブル コミュネ/イヨウ形894572 LB-PW	¥31,500	6	¥189,000
	2	CM-47 ワークテーブル コミュネ/イヨウ形894572 LB-PW	¥31,500	6	¥189,000
	3	Mチア7/FM-265 ライトグレイ	¥12,800	12	¥153,600
	4	PULLER/ウォールフレーム 1812標準セット BK	¥57,700	1	¥57,700
	5	PULLER/ホイトホート 1209	¥13,000	1	¥13,000
	6	PULLER/ホイトホート 0609	¥10,100	4	¥40,400
	7	PLR/ワカゴ F1200片面BK	¥5,800	1	¥5,800
	8	W棚板G12両面セットDGY	¥18,900	1	¥18,900
	9	PLR/ウォール棚板取付金具底板用BK	¥2,200	1	¥2,200
	10	ベンチ付扇形書架ST-TS07 (P0)	¥80,600	2	¥161,200
	11	扇形書架ST-TS03 (P0)	¥87,800	2	¥175,600
	12	直線書架ST-TS10 (P0)	¥34,000	1	¥34,000
	13	扇形書架 ST-TS02 (P0)	¥73,500	1	¥73,500
	14	Puller Stoolロー布張C SBK/アッシュ	¥12,300	2	¥24,600
	15	Puller Stoolロー布張C SBK/チェレンツ 脚	¥12,300	1	¥12,300
	16	NEUT/Φ750十字AJH720 OWLF	¥28,400	2	¥56,800
	17	ソファユニット 9型 オールドブル	¥7,564	1	¥7,564
	18	ソファユニット 9型 キネイロー 個	¥7,650	2	¥15,300
	19	上記消費税	¥123,046	1	¥123,046
	20	ロゴ入りロールスクリーン、タカワフ ライント	¥79,860	1	¥79,860
	21	書籍 (計411冊)	¥571,803	1	¥571,803
				小計	¥2,005,173
4 維持需用費	1				
	2				
	3				
				小計	0
5 役務費	1				
	2				
	3				
				小計	0
6 委託料	1				
	2				
	3				
				小計	0
7 使用料 及び賃借料	1				
	2				
	3				
				小計	0
8 備品購入費	1	扇形書架	¥135,520	1	¥135,520
	2				
	3				
				小計	¥135,520
9 工事請負費	1				
	2				
	3				
				小計	0
10 負担金・補助 及び交付金	1				
	2				
	3				
				小計	0
				合計	¥2,190,693

積算内訳